資　料　１４

審議ポイント標準項目一覧

平成２４年　１月２３日
国土交通省　東北地方整備局

平成23年度　第6回事業評価監視委員会（河川関係）　審議ポイント標準項目一覧

【再評価】

事業名	NO	県	事業箇所名	評価対象理由	前回評価時の評価理由	前回評価年	事業化用地着工工事着工	概成目標年	事業費（億円）	進捗率	費用便益比 B／C		純現在価値 NPV（億円）	経済的内部収益率 EIRR	社会情勢の変化	備考
											今回	前回				
砂防	1	福島・山形	阿武隈川水系直轄砂防事業	再評価後3年	－	H20	S11	H53	366	46%	2.8	－	372	12.4%	阿武隈川水系直轄砂防事業関係市における人口・資産等の社会情勢に関しては、近年大きな変化はない。 阿武隈川水系直轄砂防事業に対し、地元自治体から毎年事業促進の要望がある。	前回の再評価は、平成１９年度に松川流域、平成２０年度に荒川流域の各流域単位で実施され、それぞれの事業開始から土砂整備率100%までを評価対象とした。 今回は、平成24年度から平成53年度（30年間）迄を事業期間とする阿武隈川水系の整備計画に基づきＢ／Ｃを算出した。

平成23年度　第6回事業評価監視委員会（港湾）　　審議ポイント標準項目一覧

【再評価】

事業名	NO	県	事業箇所名	評価対象理由	前回評価時の評価理由	前回評価年	事業期間	事業費（億円）※上段：今回、下段：前回	進捗率	費用便益比 B／C ※上段：全体、下段：残事業		感度分析 B／C ※上段：全体、下段：残事業						純現在価値 NPV（億円）	経済的内部収益率 EIRR	貨幣換算した便益（便益の内訳及び主な根拠）	事業の効果	前回評価からの変更点	社会情勢の変化等
												需要		事業費		事業期間							
										今回	前回	＋10	－10	＋10	－10	＋10	－10						
港湾	1	福島	相馬港3号ふ頭地区国際物流ターミナル（耐震）整備事業	再評価後5年	再評価後5年	H18	S61～H27	291 （263）	82%	2.0 （2.5）	1.6 （2.6）	2.2 （2.8）	1.8 （2.3）	1.9 （2.3）	2.0 （2.8）	2.0 （2.5）	2.0 （2.5）	428	6.2%	総便益　869億円 【内訳】 輸送コストの削減便益：128億円 震災時における輸送コストの削減便益：2億円 施設被害の回避便益：9億円 海難による損失の回避便益：726億円 その他の便益（残存価値）：4億円 【主な根拠】 平成28年度　取扱貨物量：7,729TEU/年（コンテナ）、12.3万トン/年（バルク） 避泊可能隻数：5隻	・コンテナ貨物及びバルク貨物を当該港で取り扱うことによる輸送コストの削減 ・震災時における輸送コストの削減 ・震災時における施設被害の回避 ・海難減少による船舶損失の回避 ・排出ガスの減少、係留の安全性の向上、津波による浸水被害の軽減（定性的効果）	・事業費及び事業期間の見直し ・便益計算に用いる原単位等の見直し ・便益対象貨物量の見直し ・便益計算における代替港の見直し ・地震発生確率の見直し	・今後の事業進捗に支障となる課題はない
港湾	2	青森	八戸港八太郎地区・外港地区防波堤整備事業	再評価後5年	再評価後5年	H18	S51～H30	1,164 （1,066）	90%	2.1 （4.0）	1.5 （1.5）	2.3 （4.4）	1.9 （3.6）	2.1 （3.7）	2.1 （4.5）	2.1 （3.9）	2.1 （4.1）	2,710	6.6%	総便益　5,220億円 【内訳】 輸送コストの削減便益：2,468億円 海難による損失の回避便益：2,742億円 その他の便益（残存価値）：11億円 【主な根拠】 平成31年度　取扱貨物量：34,200TEU/年（コンテナ）、300万トン/年（バルク） 避泊可能隻数：13隻	・コンテナ貨物を当該港で取り扱うことによる輸送コストの削減 ・船舶の大型化による輸送コストの削減 ・海難減少による船舶損失の回避 ・排出ガスの減少、係留の安全性の向上、津波による浸水被害の軽減（定性的効果）	・事業費及び事業期間の見直し ・便益計算に用いる原単位等の見直し ・便益対象貨物量の見直し ・便益計算における代替港の見直し	・今後の事業進捗に支障となる課題はない
港湾	3	福島	小名浜港本港地区・東港地区防波堤整備事業	再評価後3年	再評価後5年	H20	S62～H40	806 （806）	54%	1.7 （5.4）	1.5 （2.4）	1.9 （5.9）	1.6 （4.8）	1.7 （4.9）	1.8 （5.9）	1.7 （5.1）	1.8 （5.5）	846	5.5%	総便益　1,984億円 【内訳】 海難による損失の回避便益：1,978億円 その他の便益（残存価値）：6億円 【主な根拠】 平成41年度　避泊可能隻数：31隻	・海難減少による船舶損失の回避 ・津波による浸水被害の軽減（定性的効果）	・事業期間の見直し ・便益計算に用いる原単位等の見直し	・今後の事業進捗に支障となる課題はない

平成23年度　第6回事業評価監視委員会（道路）　審議ポイント標準項目一覧

事業名	NO	県	事業箇所名	供用延長／計画延長	車線数	評価対象理由	前回評価時の評価理由	前回評価年	事業化年度 都計決定又は変更年度 用地着工年度 工事着工年度	事業費（億円）						費用便益比		B/C感度分析【上段：残事業、下段：全線】						純現在価値NPV（億円）※1	経済的内部収益率EIRR ※1	H42計画交通量（台／日）		代表的な整備効果	社会情勢の変化等
										完成		暫定		（内用地費（億円））		B/C		交通量変動		事業費変動		事業期間変動				バイパス	現道		
										全線	進捗率	全線	進捗率	全線	進捗率	残事業	全線	＋10	－10	＋10	－10	＋20	－20						
道路	1	岩手4号	一般二次盛岡北道路	－ /3.6km	4	新規採択後5年継続	新規事業化	H18	H19 H20 H21 －	44	34%	－	－	21	57%	5.4	3.9	4.0 【5.6】	3.6 【5.0】	3.8 【5.1】	4.1 【5.8】	3.8 【5.3】	4.1 【5.6】	172 【157】	28.5% 【17.0%】	36,600	－	○交通混雑の解消 ○交通事故の減少	事業計画の変更による事業費増
道路	2	青森4号	一般二次土屋バイパス	4.2km /4.2km	4	再評価実施後3年経過	再評価実施後 5年経過	H18	S60 S62 H4 H9	170	82%	130	99%	23	99%	2.4	1.2	2.7 【1.3】	2.2 【1.0】	2.3 【1.2】	2.6 【1.2】	2.4 【1.1】	2.5 【1.3】	74 【44】	16.2% 【4.8%】	14,700	0	○交通隘路の解消 ○冬期歩行空間の確保	－
道路	3	青森45号	高規格八戸南道路	3.4km /8.7km	2	再評価実施後3年経過	都市計画の変更後 10年経過	H20	H7 H11 H14 H15	235	93%	－	－	64	99%	9.2	1.5	10.0 【1.6】	7.2 【1.2】	8.8 【1.5】	9.6 【1.5】	9.0 【1.3】	－ 【1.5】	289 【139】	100.0% 【6.1%】	15,600	5,400	○復興道路して三陸沿岸道路の一部を構成 ○地域間の交流・連携を促進	－
道路	4	青森101号	高規格鰺ケ沢道路	－ /3.7km	2	新規採択後3年未着工	新規事業化	H18	H19 － H22 H23	55	20%	－	－	6	16%	2.4	2.0	2.7 【2.2】	2.1 【1.7】	2.2 【1.8】	2.6 【2.1】	2.3 【1.9】	2.5 【2.0】	70 【59】	12.2% 【9.3%】	8,300	400	○交通隘路の解消 ○地域間の交流・連携を促進	－
道路	5	岩手	東北横断自動車道釜石秋田線（宮守～東和）	－ /24.0km	2	再評価実施後3年経過	再評価実施後 5年経過	H20	H10 H8 H17 H17	542	90%	－	－	117	99%	8.0	1.6	9.1 【1.8】	6.9 【1.4】	7.7 【1.6】	8.3 【1.6】	8.0 【1.6】	8.0 【1.6】	914 【389】	103.5% 【6.8%】	9,100	2,100	○復興道路して東北横断道釜石秋田線の一部を構成 ○岩手県内陸地域と三陸沿岸地域の地域連携の交流・連携の促進	－
道路	6	岩手45号	高規格吉浜道路	－ /3.6km	2	新規採択後5年継続	新規事業化	H18	H19 － H21 H21	140	36%	－	－	4.5	100%	4.4	2.8	5.0 【3.2】	3.7 【2.4】	4.0 【2.6】	4.8 【3.0】	4.2 【2.7】	4.5 【2.9】	292 【243】	18.0% 【11.3%】	10,000	1,800	○復興道路して三陸沿岸道路の一部を構成 ○三陸沿岸の地域間交流・連携の促進 ○交通隘路の解消	－
道路	7	宮城47号	一般二次仙台北部道路	11.8km /13.5km	4	再評価実施後3年経過	再評価実施後 5年経過	H19	H5 H4 H6 H9	1,184	75%	934	95%	125	100%	3.1	1.3	3.4 【1.5】	2.8 【1.09】	2.8 【1.2】	3.1 【1.3】	2.9 【1.2】	3.2 【1.3】	559 【377】	13.0% 【4.9%】	20,300	52,100	○仙台都市圏の自動車専用道路ネットワーの一部を構成 ○仙台塩釜港への利便性向上	－

平成23年度　第6回事業評価監視委員会（道路）　審議ポイント標準項目一覧

【事後評価】

事業名	NO	県	事業箇所名	供用延長	車線数	評価対象理由	事業化年度 都計決定又は変更年度 用地着工年度 工事着工年度	事業期間				事業費（億円）				費用便益比 B／C		交通量（台／日）				旅行速度向上		交通事故減少		代表的な整備効果	社会情勢の変化等
								完成		暫定		完成		暫定				完成		暫定		（km/h）		（件/年）			
								計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	実績	計画時	事後	計画時 ※1	実績	計画時	実績	供用前 現道	供用後 当該路線	供用前 現道	供用後 現道		
道路	1	岩手283号	一般二次 仙人峠道路	18.4	2車	完了後 5年	H4 － H7 H8	H18	H18	－	－	630	700	－	－	1.8	1.3	5,700 （H32） 【2車】	5,600 （H22） 【2車】	－	－	42.8	63.8	19.7	11.0	①交通混雑の緩和 ②安全な生活環境の確保 ③新幹線駅へのアクセス性向上	―